



日本共産党
参議院議員

吉良よし子 国会報告

2018
9



「私たちは、あきらめない」

——国会前で、沖縄で、あらゆる路上で、
合言葉のように繰り返されている言葉です。

6月29日、「働き方改革」法案が強行されました。
長時間労働も過労死も促進する法案。
ブラック企業ゼロを公約に掲げていたからこそ、
私は悔しくて悔しくてたまらなかった。
委員会採決の時、首を振り続けていた過労死遺族の姿も目に焼き付いている。
それでも、その直後の記者会見で過労死家族の会のみなさんは言ったのです。
「私たちはこれからも、過労死を防ぐための活動を続けます」
「働く人の命を守る制度を作るまであきらめません」と。

沖縄で、命をかけてたたかった翁長さんのように、
あきらめない先にこそ、道は開ける。
来年夏の参院選へ。
悪法強行、改ざん、ねつ造、なんでもありの安倍政権を倒すため、
「あきらめない」すべての人の思いを胸に、たたかいぬきます。

吉良よし子

6月5日 厚生労働委員会

過労死を増加させる 高プロ制度は廃止を

吉良議員は質問に先立ち、政府が高プロの対象業務とする金融アナリストに直接聞き取り。「1日18時間の長時間労働で、本人の意思に関係なく朝会などに出ざるをえない」など、聞き取った実態を加藤厚労大臣につきつけ「こんな裁量性があるとは言えない働き方は高プロの対象になりえない」と迫りました。

また、政府は高プロは年収1075万円が最低ラインと言いますが、月額20万円にして、残り835万円を1年後にまとめて支払う方法でも違法にならないことを論戦で明らかにし、法案の

デタラメぶりを指摘しました。
長時間労働の温床となり過労死を増加させる残業代ゼロ制度は廃止すべきです。



6月8日 高プロ導入反対集会で報告

3月29日 文教科学委員会

「ブラック校則」は人権侵害 校則は子どもたちとともに見直しを

吉良議員は「ブラック校則」をとりあげました。髪型を細かく指定、下着の色が決められているなど、子どもたちの理解なく一方的に決められている理不尽な「ブラック校則」。林文科相は、「自尊感情の低下を招き、精神的に追い詰めかねない」と懸念を示し「校則は社会通念に照らし、絶えず積極的に見直すべき」と述べました。

さらに、従来は学校長が決めるとしてきた校則についても、子どもたちが何らかの形で参加し決めるのが『望ましい』と、これまでより一歩前にすすんだ答弁をしました。

質問への反響
1

高プロ

高プロ1075万円要件のまやかしを追究した質問は大きな反響を呼んだけど、これは**固定残業代やブラック企業の実態を追及してきた吉良さんならではの質問**だったと思います。

質問動画を見た方からの感想メール

質問への反響
2

ブラック校則

先日娘の学校でみだしなみ検査があり、その方法が制服のブラウスの裾をめくって教師が「白無地であるか」確認するというものでした。**吉良議員がブラック校則を取り上げ「人権侵害、パワハラ、セクハラ」であるとおっしゃって下さったことが心の拠り所**となっております。

私立中学校に通う娘を持つお母さんからのメール

文教委員会での質問をきっかけに 尾木ママ、荻上チキさんと教育対談

～ブラック校則や主権者教育など、教育の課題や展望について語り合いました。

「憲法いかしてご機嫌な教室へ」
評論家の荻上チキさんと対談
(女性のひろば18年6月号)



「子どもを社会の中心に」
教育評論家の尾木直樹さんと対談
(東京民報18年8月12・19日号合併)



力を合わせて
がんばります

東京から
未来ひらく
コンビ

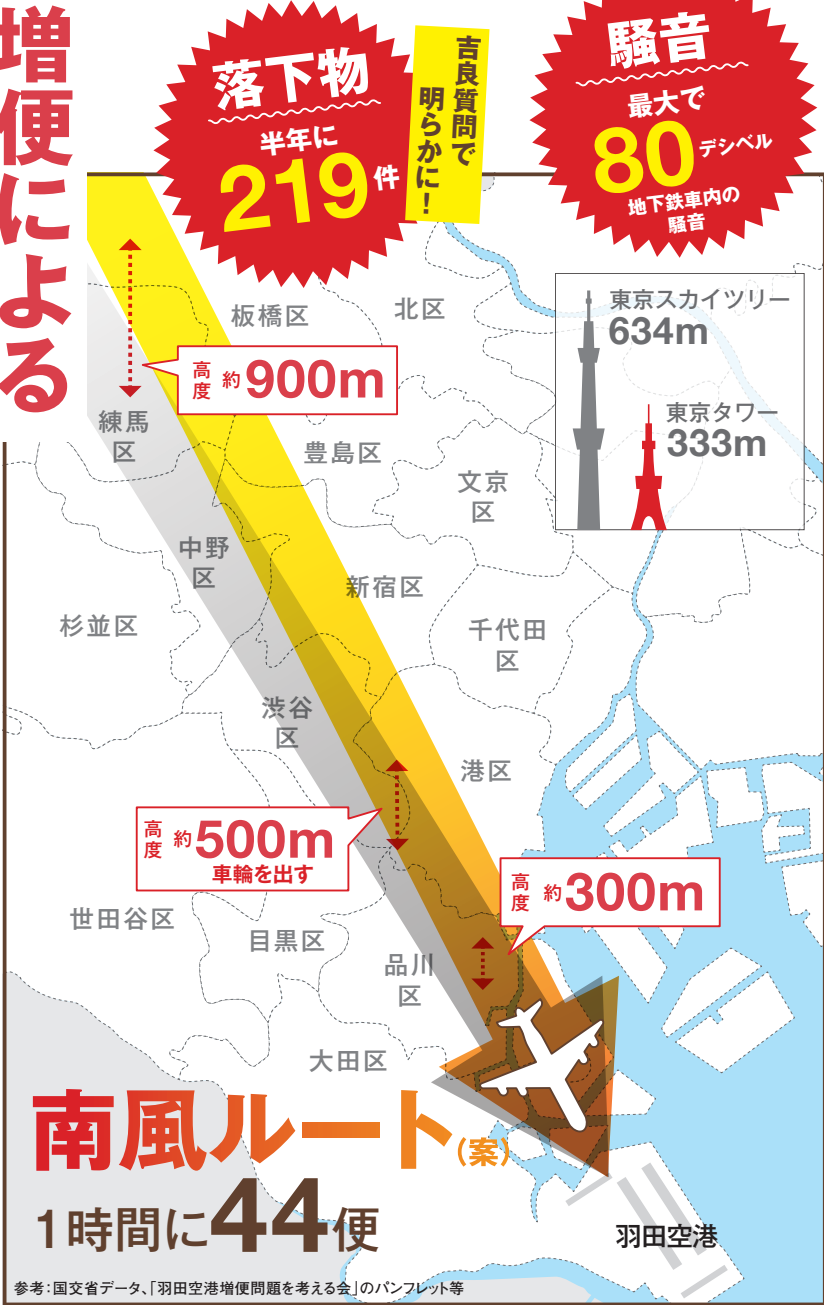


小池晃
党書記局長 参議院議員(比例代表選出)

羽田空港

国土交通省は、オリンピックを口実に羽田空港の増便を計画しており、それにともない都心を低空飛行する新ルートをつくろうとしています。これまで羽田空港は、安全確保のために海上ルートでの発着を原則にしてきました。これを破るとんでもない計画です。

増便による危険な低空飛行ルートはやめよ



落下物はゼロにできない

6月4日 決算委員会

吉良議員は新ルートに計画されている品川区内で聞いた、計画中止を求める声を石井国交大臣につきつけました。さらに、国交省の落下物対策を実行したら「落下物をゼロにできるのか」

と迫ったところ、大臣は、外国航空会社「協力要請」して「ゼロをめざして取り組む」と答えるのみ。議員は「ゼロにできないのに都心を飛ばすことはやめるべき」と強く求めました。

横田基地

オスプレイ配備やめよ

5月27日



10月1日から、米軍横田基地に5機のオスプレイが正式に配備されます。通告もないまま日本の空を飛び回って訓練を行い、各地で不具合による緊急着陸を繰り返しているオスプレイ。「東京の空にオスプレイはいらない」と平和大好き福生市民アクションで住民の皆さんと声をあげました。

豊洲移転

農水大臣に「認可するな」と申し入れ

8月29日

170倍のベンゼンが検出され、仲卸など市場業者も合意していない豊洲新市場は、中央卸売市場にふさわしくありません。齋藤農水大臣に認可するなと申し入れました。



外環道 現地調査

8月28日

地上への影響が 明らかな工事は即中止

地上に影響がないからと地権者の同意もなく進められている外環道の大深度工事。しかし工事が始まると川から気泡、地上には水が出る事態に。現場を視察し、中止を求めました。



特定整備路線

6月4日
決算委員会

国交大臣に 見直しを求める

まち壊し、住民無視の特定整備路線の工事見直しを求めて質問。国の見直し方針を都に徹底するよう求めました。



Q1
今国会、
モリカケ疑惑、
公文書改ざん、
ひどかったですね？



Q2
セクハラ、LGBTへの
差別発言など、
政府や与党議員の言動が
問題になりました。



Q3
野党共闘で
本当に政治は
変わりますか？



Q4
参院選まで
1年を切りました。
選挙に向けた決意をぜひ！



8月10日
LGBT差別発言への自民党本部前抗議

A1
はい。文教委員会でも、加計学園問題、前川氏の授業への政治介入、科研費への不当パッシングなどが問題に。「教育不介入」「学問の自由」の大切さを大臣に問う論戦を何度も行いました。加計学園をめぐる愛媛県文書を裏付ける資料も文科省から出させました。

A2
これらの問題を通じ、人間の尊厳を踏みにじって恥じない安倍政権の姿があらわになったと思います。セクハラ問題の時には、私も野党有志の一員として財務省に抗議に行きました。新たに立ち上がった市民もいます。だれもが自分らしく堂々と生きられる社会を今こそ。

A3
今国会でも、市民と野党の共闘で改憲案提出を阻止できました。私も国際会議に出席したとき、「アジアの平和には現行憲法が大事」と堂々と発言する野党議員（共闘の候補者）の姿を見て、共闘による前向きの変化を感じました。野党共闘の前進が政治を変える力です。

A4
この5年、ブラック企業名公表、求人票是正など、大事な実績をみなさんと勝ち取ってきました。市民とともにたたかう共産党の議席がひとつ増えれば政治は変わる。私の議席が証明しています。この議席、必ず守り抜く。市民と野党による新しい政治を必ず実現しましょう。